

働く者の権利行使で社会を変えていこう

西武百貨店のストライキに多くの支持が

8月31日に行われた池袋西武百貨店のストライキは多くの人が支持をしていました。

「労組の重要性を再認識」という投書

テレビもスト迷惑論よりも、「池袋から百貨店が無くなつてほしくない。そのためのストだから」と言う人がいました。その中には「教科書に出ていることが現実に行われている。働く者にはこうした権利があるのを知った」と言う若者もいます。新聞の投書にも「この度のさごう・西武労組のストが、労働組合の重要性を人々が再認識するきっかけになるように願っています」とありました。

今年の春闘は

例年になく行った

今年の春闘では例年になく民間の職場でストライキを行って賃上げを勝ち取っていますし、郵政ユニオンも大幅賃上げ、大幅増員、夏期・冬期休暇の削減

反対、非正規労働者の待遇改善等を求めてストを行いました。こうしたことをマスコミは大きく報じていません。報じたとしても迷惑論を前面にし、労働者のたたかいを委縮させてきたのではないのでしょうか。

他の先進国では

アメリカでは有名な映画俳優、脚本家のストに続いて自動車会社の不誠実な回答に労働者のストが行われています。ヨーロッパ



では数十万規模のスト（郵便労働者も含む）を行って賃上げを勝ちとっています。

私たちも、この教訓を学んで先進国で最低の賃金、労働環境を改善させるようしていきましょう。

職場からメール

ゆうパックを担当する人からの話です。この10月からヤマトとの協業が始まりますが、その協業にはメール便等で荷物は対象外です。しかし、8月の猛暑時にヤマトから大量に回ってきたというのです。その荷物は20キロを超えるような水、米等の重い物ばかり。しかも、エレベーターのない場所がほとんどで配達するのに大変な思いをしたというのです。ヤマトも人員不足からこちらに回したと思えますが、結局ヤマトに郵政は利用されているのではないかと、というのが彼の声でした。どこも人員不足、しわ寄せはいつも現場であることを痛恨します。